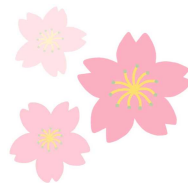
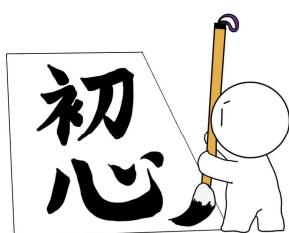


さくら



令和7年8月25日(月)

実りある2学期にしよう



お盆が過ぎ、朝夕の暑さはましになりました。しかし、日中は厳しい残暑を感じます。

わが家の近くでは稲が大きく育ち、間もなく稲穂が金色に輝く季節がやってきます。季節は間違いなく秋へと向かっています。

皆さんは、この夏休みをどのように過ごしましたか。

1学期終業式で、私が最後に話したのは、「チャレンジする夏休みにしよう」という内容でした。どのようなチャレンジができましたか。チャレンジしたことや頑張ったことを、担任の先生などに積極的に伝えてください。頑張ったことを口にするのは、これからは頑張ろうとする意欲につながるそうです。ちなみに私のチャレンジは、「腹筋運動」と「ギターの練習」と伝えました。成果は、毎日60回の腹筋運動で1.5kg痩せました。ギターの練習では、簡単な曲を、2曲弾き語りできるようになりました。努力は裏切りません。

さて、2学期の始まりにあたり、「初心忘るべからず」ということを伝えまします。初心とは、志を立てるとき、初めて事にあたるときの純粋で真剣な気持ちのことです。この言葉は、室町時代に能を大成した世阿弥（ぜあみ）の著書「花鏡（かきょう）」にあり、次のように記されています。

「是非初心を忘るべからず、時々の初心を忘るべからず、老後の初心を忘るべからず」

これは、初めて事に当たるときの純粋な気持ちを忘れてはいけないということだけではなく、自分自身の成長に応じて、その都度、志を新たにすることの大切さを教えてくれています。また、「志ある者は事ついになる」（後漢書）という言葉もあり、志がしっかりしていれば、どのようなことも最後には成し遂げられるのです。

成長と実りの2学期を迎えるにあたり、1年生は入学したとき、2・3年生は進級したときの「初心」を思い出し、今学期も目標に向かって努力をしてみてください。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

